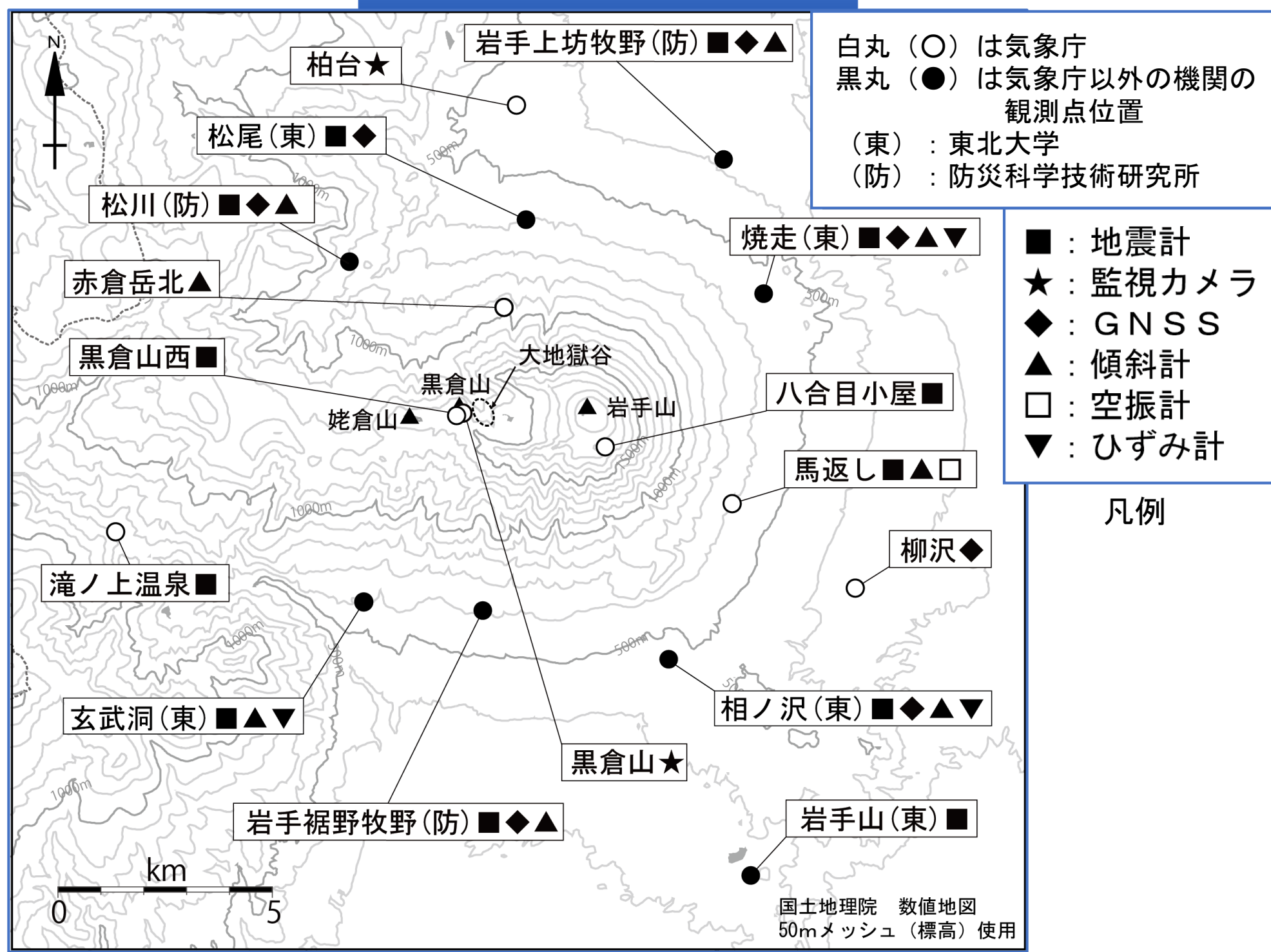




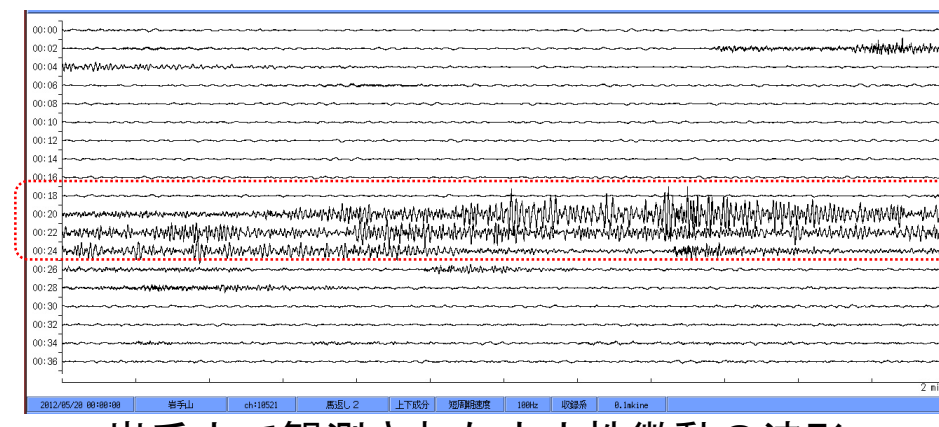
岩手山は2011年3月に常時観測火山に指定されました。仙台管区気象台では、地震計や監視カメラ、傾斜計、GNSS等の観測機器を設置し、「地域火山監視・警報センター」において24時間体制で監視しています。また、定期的に現地に赴いて、地熱などの観測を実施しているほか、火山活動が活発化または火山活動に異常がみられた場合に臨時に観測を行っています。

観測点配置図



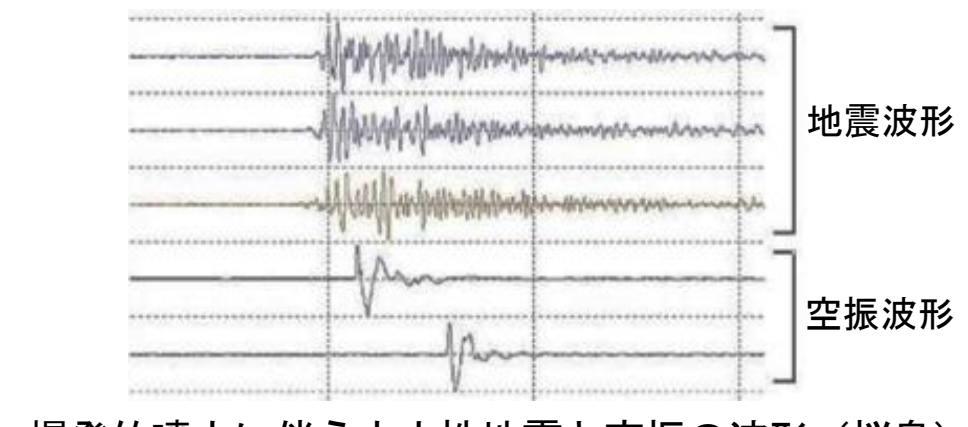
● 震動観測 (地震計)

火山体やその周辺で発生する火山性地震や火山性微動をとらえる



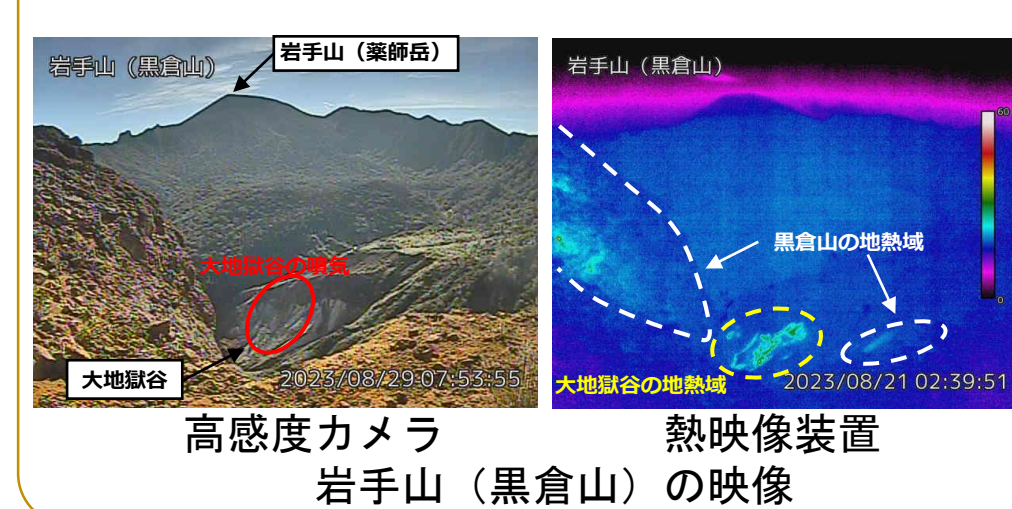
● 空振観測 (空振計)

噴火などによって周囲の空気が振動して衝撃波となって大気中に伝播する現象を観測する



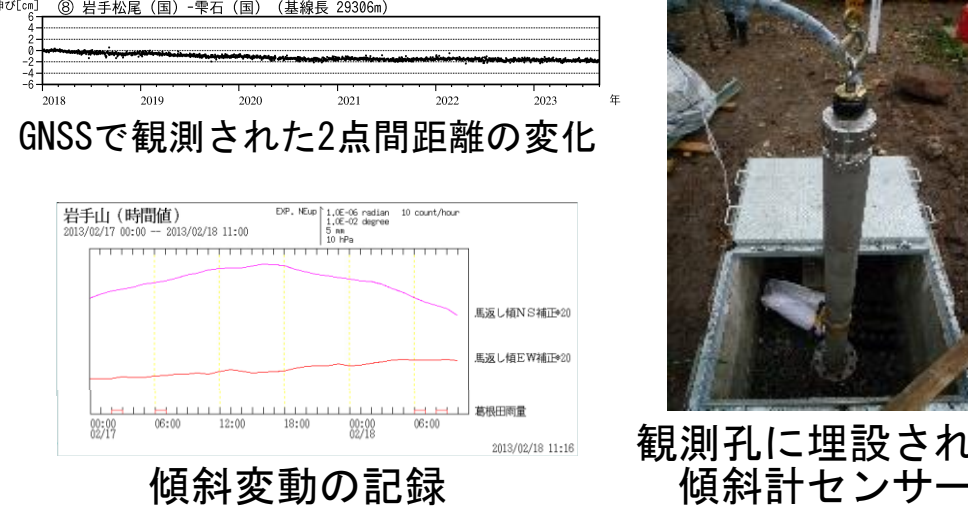
● 監視カメラによる観測 (高感度、熱映像装置等)

噴気の高さ、色、噴出物 (火山灰や噴石)、火映などの発光現象等を観測する



● 地殻変動観測 (GNSS、傾斜計等)

地下のマグマの活動等に伴って、地殻に力が加わって生じる地盤の傾斜変化や山体の膨張・収縮を観測する



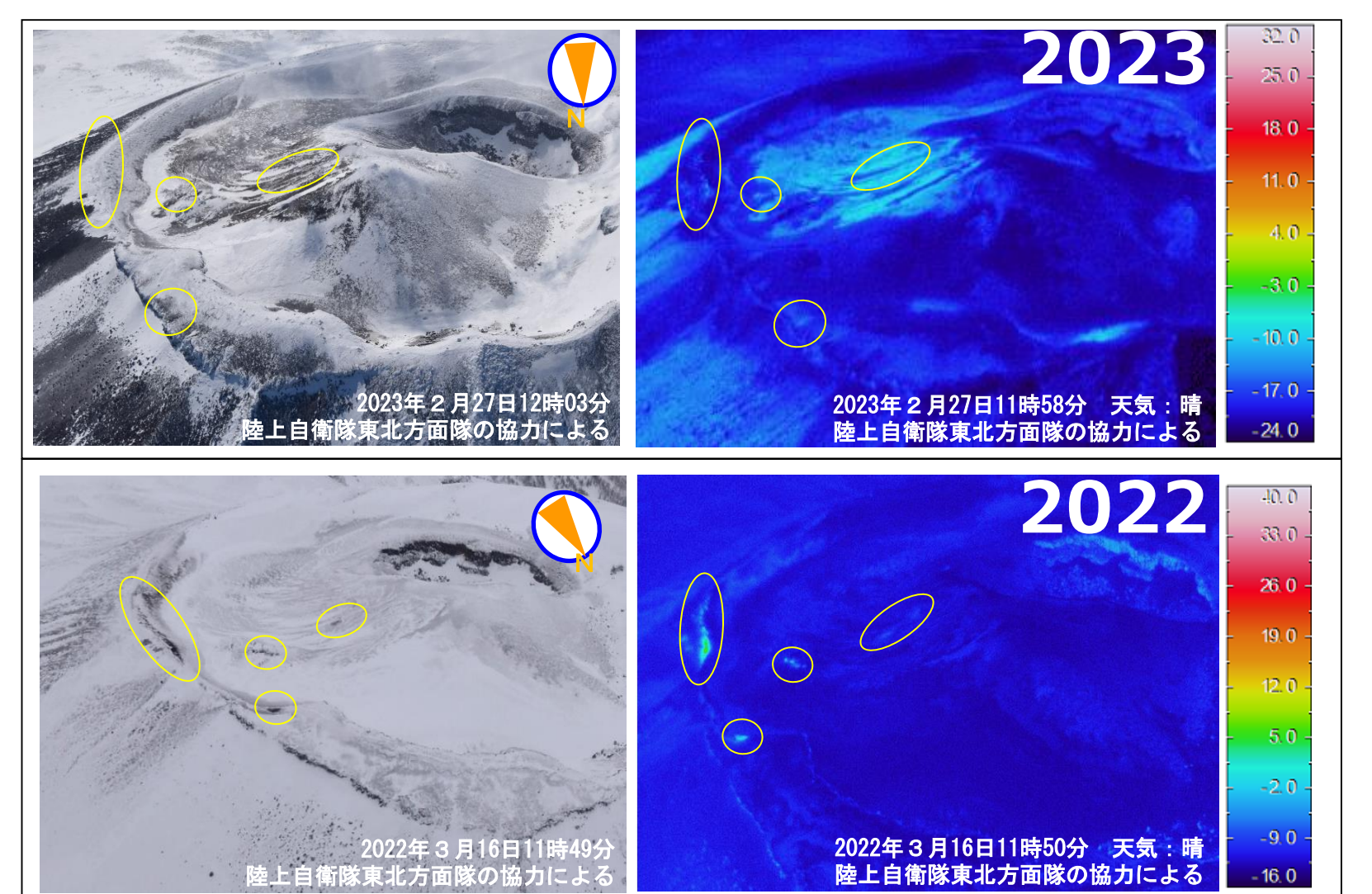
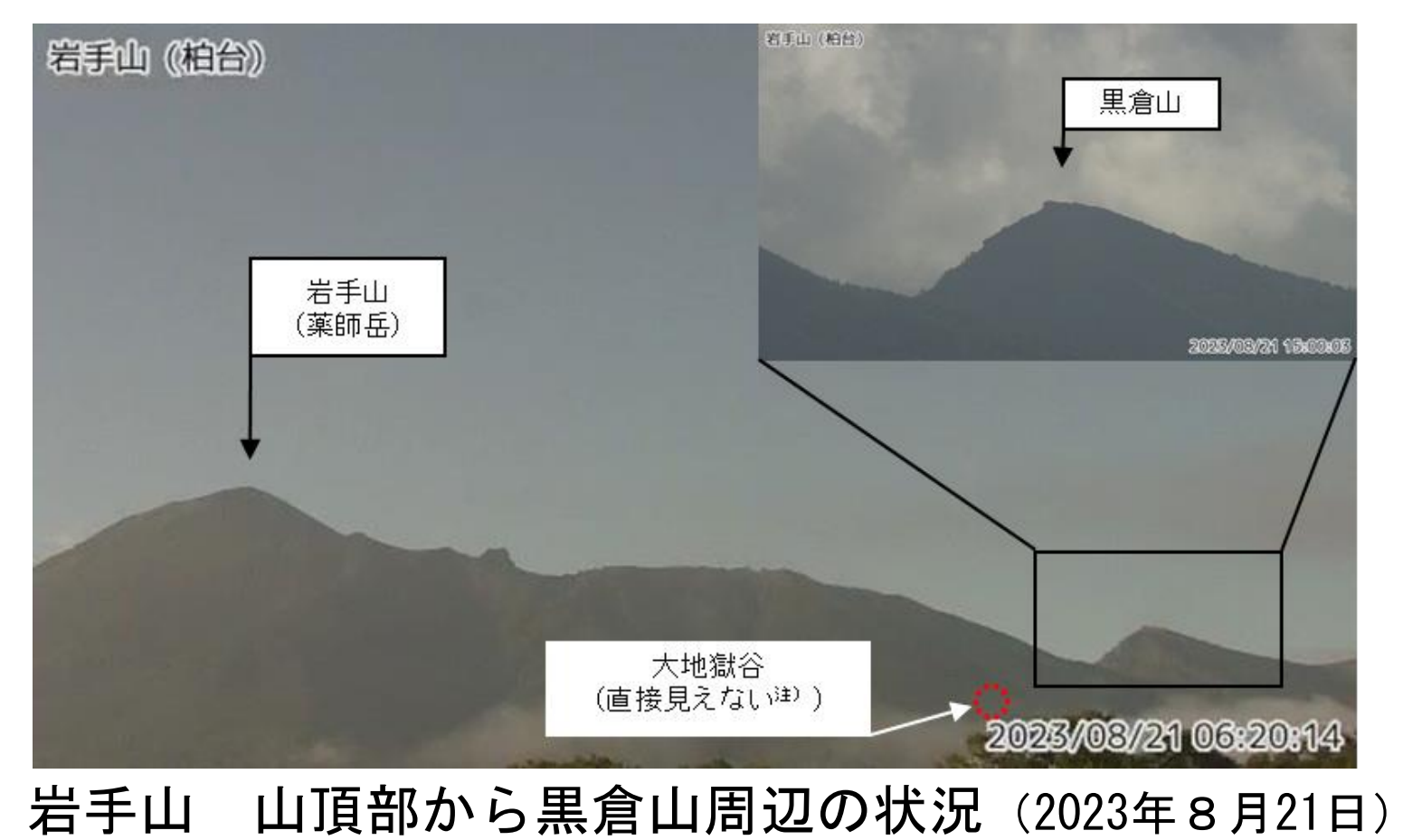
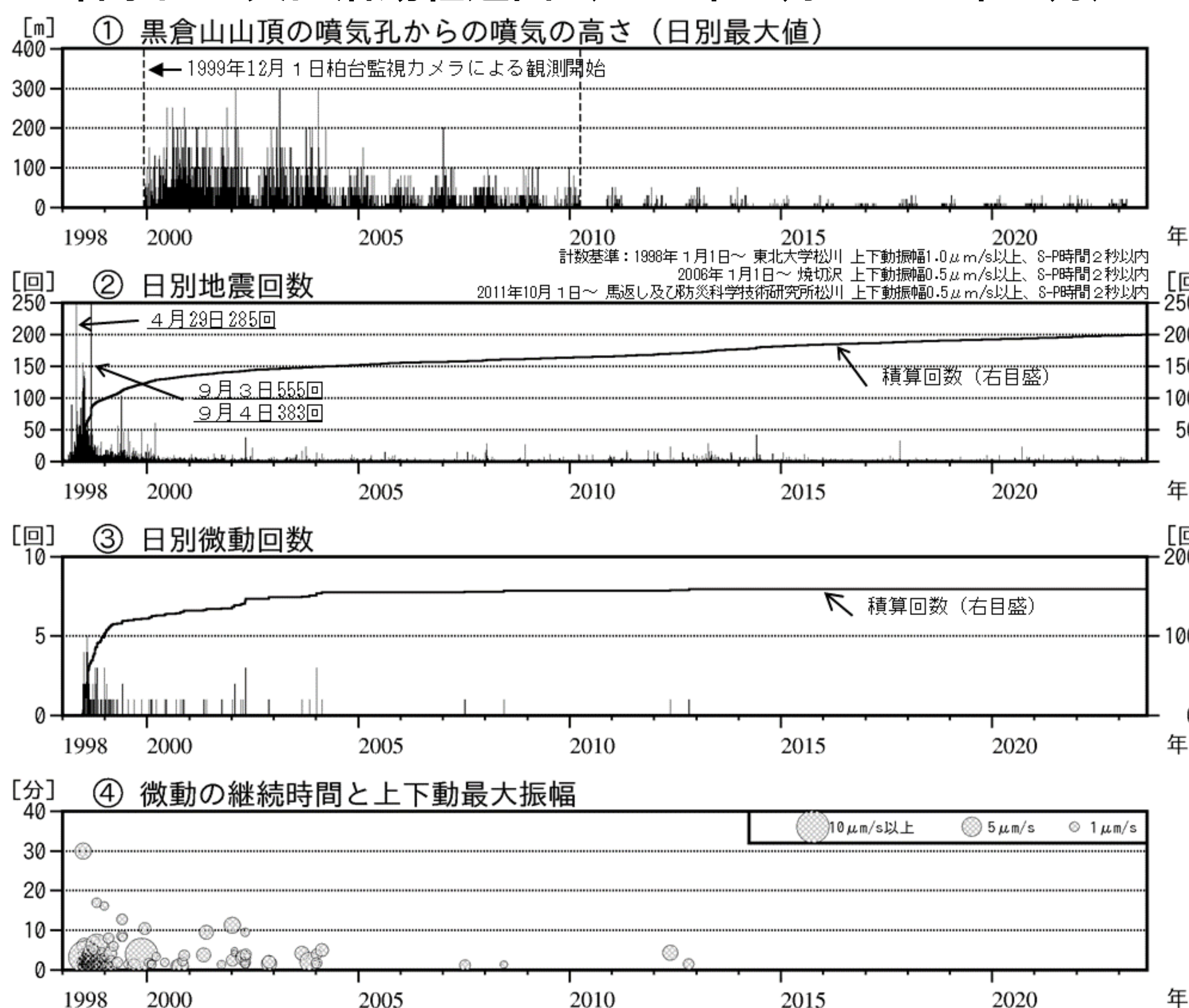
岩手山の火山活動状況



1998年には、地震活動が活発化し地殻変動もみられるなど火山活動に高まりがみられましたが、2023年現在は各観測データに特段の変化はみられず、静穏な状態で推移しています。火山活動に変化がみられた場合、仙台管区気象台は噴火警報や火山の状況に関する解説情報を発表し、警戒や注意を呼びかけます。

噴火警戒レベル1 (活火山であることに留意)

岩手山 火山活動経過図 (1998年1月～2023年8月)



上空から撮影した岩手山山頂付近南東火口原の可視画像 (左) と赤外熱映像による地表面温度分布 (右)

主な観測項目の時間経過
①噴気の高さ ②地震回数 ③火山性微動の回数 ④火山性微動の継続時間と最大振幅